

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準

生活自立	ランクJ	何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1 交通機関などを利用して外出する 2 隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランクA	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない 1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランクB	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ 1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2 介助により車椅子に移乗する
	ランクC	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介護を要する 1 自力で寝返りを打つ 2 自力では寝返りも打たない

注)判定に際しては、「～をすることができる」といった「能力」の評価でなく、「状態」特に「移動に関わる状態像」に着目して、日常生活の自立の程度を4段階にランク分けし評価するものとする。